

令和2年度（2020年度） 商工会等事業変更概要書（4回目以降）

能勢町商工会

（単位：円）

1. 事業変更一覧

変更区分	事業区分	事業名	変更の理由	補助金額
変更	地域活性化事業	地域金融機関との支援ネットワーク事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため豊能町商工会、能勢町商工会各々でセミナーの開催を予定していたが「人ごみ」「密」を避ける観点から能勢町商工会で行うセミナーをオンライン配信を利用し豊能町商工会にも配信して開催する。	0

※変更区分には、「追加」、「廃止」、「変更」、「未実施」のいずれかを選択してください。

## 2. 経費支出概要書（経費内訳）

能勢町商工会

## (1) 経営相談支援事業

(単位：円)

区 分	変更前			変更後			差額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
事業所カルテ・サービス提案	92	2,300,000		92	2,300,000		0	
支援機関等へのつなぎ	10	100,000		10	100,000		0	
金融支援（紹介型）	2	60,000		2	60,000		0	
金融支援（経営指導型）	15	600,000		15	600,000		0	
マル経融資等の返済条件緩和支援	2	40,000		2	40,000		0	
資金繰り計画作成支援	25	500,000		25	500,000		0	
記帳支援	34	850,000		34	850,000		0	
労務支援	40	800,000		40	800,000		0	
人材育成計画作成支援	15	300,000		15	300,000		0	
マーケティング力向上支援	17	340,000		17	340,000		0	
販路開拓支援	30	600,000		30	600,000		0	
事業計画作成支援	5	250,000		5	250,000		0	
創業支援	5	100,000		5	100,000		0	
事業継続計画(BCP)作成支援	10	200,000		10	200,000		0	
コスト削減計画作成支援	25	500,000		25	500,000		0	
財務分析支援	24	240,000		24	240,000		0	
5S支援	15	150,000		15	150,000		0	
IT化支援	10	200,000		10	200,000		0	
債権保全計画作成支援	1	10,000		1	10,000		0	
事業承継支援	5	100,000		5	100,000		0	
災害時対応支援	0	0		0	0		0	
フォローアップ支援	20	100,000		20	100,000		0	
結果報告	90	900,000		90	900,000		0	
小 計	—	9,240,000	9,235,950	—	9,240,000	9,235,950	4,050	0

## (2) 専門相談支援事業

事業名	変更前			変更後			差額	
	支援日数	算定基準	補助金額	支援日数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
金融相談専門員	61	1,464,000		61	1,464,000		0	
税務相談	10	240,000		10	240,000		0	
法務相談	3	72,000		3	72,000		0	
労務相談	2	48,000		2	48,000		0	
経営相談	15	360,000		15	360,000		0	
融資相談	3	72,000		3	72,000		0	
小 計	3	2,256,000	2,256,000	—	2,256,000	2,256,000	0	0

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

## (3) 地域活性化事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	6,607,750	別紙事業調書【変更後】のとおり	6,607,750		0

## (4) 商工会等支援事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	865,900	別紙事業調書【変更後】のとおり	865,900		0

## (5) 合計

	変更前		変更後		差額	
		補助金額		補助金額		補助金額
申請合計		18,965,600		18,965,600		0

事業名		地域金融機関との支援ネットワーク事業	新規/継続	継続
想定する実施期間		H26 年度～ 年度まで	←複数年度段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地域内において金融機関が少なく事業者が利用できる場所は限られており比較検討ができていない状況がある。そのような状況などから十分な金融情報を得ることも、得ようとする意欲も消極的になりがちになる。しかし、そのような事業所こそが資金需要が高く経営環境も厳しい。そこで商工会、地域金融機関、行政機関がネットワークを組んで、各機関の取り組み施策を情報共有し、その情報を積極的に発信することが必要である。地域支援ネットワークを活用し大阪府の融資制度をはじめ各種の事業融資の情報を提供し積極的に利用促進をはかる等金融支援の一体的な支援を継続して行っていく。		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	豊能町および能勢町内の全中小企業者		
	事業に対する企業ニーズ (内容・把握方法等)	近年「持続化補助金」「IT補助金」「ものづくり補助金」等の返済を要しない助成金や補助金が設けられている。また金融情勢も超低金利時代となり、融資の借入についてもたやすく融資が受けられると思いつている小規模事業者がいまだに数多く存在しており、現実との認識にズレがみられる。 豊能地域には金融機関が少なく、どうしても情報が限られていることから、地域支援ネットワークによる積極的な情報の発信および事業者の金融ニーズを掴み、それをサポートし融資実行に結びつける積極的かつ継続的な支援が望まれている。		
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<p>・12月能勢町商工会において、参画機関である能勢町商工会、豊能町商工会、両町行政担当者、金融機関、日本政策金融公庫、大阪府及び大阪信用保証協会による地域支援ネットワーク会議を開催。各担当者間での交流が進み、特にこれまであまり交流がなかった行政間交流が親密化した。</p> <p>・事業者向けセミナーを2月に豊能町商工会、また同じく2月に能勢町商工会で開催。ホームページ掲載、DM郵送、町内チラシ折込、行政および銀行窓口にもポスターおよびチラシ配架、巡回等で周知を行う。</p> <p>・11月25日、28日、12月5日、9日、と4日間にわたり能勢町商工会で実施した創業塾(特定創業支援事業)において、参加者に大阪府制度融資案内等のパンフレットを配付説明し、利用促進を図った。</p>		
	反省点	融資実績については実行に結びついているが、本事業は経営支援との一体的支援を目指すものであり、事後フォローは行っているものの決して十分ではないと思われるので、その点について特に事業所への巡回を強化する。また、府制度融資については、地域金融機関および行政の協力が必要不可欠であり、より一層支援金融機関と連携した取組みを推進していく。		
具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	○ 人材育成型	1. 地域支援ネットワーク会議の開催 ・能勢町商工会、豊能町商工会、両町行政担当者、地域支援NW金融機関、日本政策金融公庫、大阪府及び大阪信用保証協会等で構成する地域支援ネットワーク会議を実施し、管内の経済状況や支援取り組み状況および事業融資動向について意見交換を実施する。 ・本会議を通じて地域支援NW支援機関の情報の共有化並びに連携を深め、金融支援の方策について具体的検討を行なう。		
	○ 人材交流型	2. 「金融セミナーおよび交流会」の開催 ・地域金融に焦点をあてた、身近で親しみの持てる「金融セミナーおよび交流会」を能勢町及び豊能町商工会で各1回開催する。(開催時期は下半期に実施予定)		
	販路開拓型	3. 各種事業融資の活用促進(随時) ・各商工会が実施するセミナーや相談会において、大阪府制度融資(地域支援ネットワーク型)のPR(パンフレットの配布、郵送等)を積極的に行うとともに、その他の事業融資についても利用促進を図り、事業の持続化を推進する。		
	ハンズオン型	4. 特定創業支援事業との連携 ・能勢町商工会が町の受託事業として実施する「創業塾」に於いて、府制度融資等のPRを行い、利用促進を図る。		
	独自提案型			

事業名		地域金融機関との支援ネットワーク事業				新規/継続	継続	
事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠)		<input checked="" type="checkbox"/> (a)府施策連携	<input checked="" type="checkbox"/> (b)広域連携	<input checked="" type="checkbox"/> (c)市町村連携	<input checked="" type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果	・府施策連携商26番 (a b c)豊能町および能勢町商工会、日本政策金融公庫、地元金融機関、大阪府(保証協会)と協議を重ね、また両町行政担当課とも特定創業支援事業などとも協力して、地域支援ネットワークをより充実したものとし、両町において金融と経営支援の一体的支援を目指す。 (d)融資等のカルテ化につなぐ		
事業の 目標	支援対象企業数	設定根拠及び 募集方法⇒	チラシ、ホームページ、DM、巡回訪問等にてセミナー受講を募集する。					
		30						
	支援対象企業の変化	中小企業等が、金融情報や行政施策などの有効な情報を獲得して経営改善のヒントを得ると同時に、事業資金の調達時においてバリエーションが広がり、より有利な方策を選択することが可能となる。						
	その他目標値	目標値の内容⇒	地域支援を通じて個別相談等に至った支援対象企業数					
算定基準 により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	指標	参加へのアンケート調査での今後の経営に役立ったと回答した企業の割合			数値目標	70%	
		7社						
		サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費
		⇒ 30,300 円 ×	30	×	1.00	=	909,000 円	
		円 ×		×		=	円	
		円 ×		×		=	円	
	(小計)						909,000 円	
	規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)						円	
	計						909,000 円	
	独自提案単価及び 独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)							
算出額	①市町村等補助	円	交付市町村等					
	②受益者負担	円	負担金の積算					
	<input type="checkbox"/> (a)府施策連携	<input type="checkbox"/> (b)広域連携	<input type="checkbox"/> (c)市町村連携	<input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果				
	標準事業費	補助率			(①市町村等+②受益者負担)			
	909,000 円 ×	1.00	=	909,000 円	( 円 )			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核 団体またはヒアリングで 説明する代表団体に ○)	代	商工会・会議所名	配分額	役割(配分の考え方)				
	○	能勢町商工会	454,500 円					
		豊能町商工会	454,500 円					
			円					
			円					

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		地域金融機関との支援ネットワーク事業	新規/継続	継続
想定する実施期間		H26 年度～ 年度まで	←複数年段階的実施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	地域内において金融機関が少なく事業者が利用できる場所は限られており比較検討ができていない状況がある。そのような状況などから十分な金融情報を得ることも、得ようとする意欲も消極的になりがちになる。しかし、そのような事業所こそが資金需要が高く経営環境も厳しい。そこで商工会、地域金融機関、行政機関がネットワークを組んで、各機関の取り組み施策を情報共有し、その情報を積極的に発信することが必要である。地域支援ネットワークを活用し大阪府の融資制度をはじめ各種の事業融資の情報を提供し積極的に利用促進をはかる等金融支援の一体的な支援を継続して行っていく。		
	支援する対象 (業種・事業所数等)	豊能町および能勢町内の全中小企業者		
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	近年「持続化補助金」「IT補助金」「ものづくり補助金」等の返済を要しない助成金や補助金が設けられている。また金融情勢も超低金利時代となり、融資の借入についてもたやすく融資が受けられると思いつている小規模事業者がいまだに数多く存在しており、現実との認識にズレがみられる。 豊能地域には金融機関が少なく、どうしても情報が限られていることから、地域支援ネットワークによる積極的な情報の発信および事業者の金融ニーズを掴み、それをサポートし融資実行に結びつける積極的かつ継続的な支援が望まれている。		
これまでの取組状況 ※継続事業の場合のみ記入	実施内容・実績数値	<p>・12月能勢町商工会において、参画機関である能勢町商工会、豊能町商工会、両町行政担当者、金融機関、日本政策金融公庫、大阪府及び大阪信用保証協会による地域支援ネットワーク会議を開催。各担当者間での交流が進み、特にこれまであまり交流がなかった行政間交流が親密化した。</p> <p>・事業者向けセミナーを2月に、Zoomを使ったオンライン配信の形式で豊能町商工会と同時に実施する。ホームページ掲載、DM郵送、町内チラシ折込、行政および銀行窓口ポスターおよびチラシ配架、巡回等で周知を行う。</p> <p>・11月25日、28日、12月5日、9日、と4日間にわたり能勢町商工会で実施した創業塾(特定創業支援事業)において、参加者に大阪府制度融資案内等のパンフレットを配付説明し、利用促進を図った。</p>		
	反省点	融資実績については実行に結びついているが、本事業は経営支援との一体的支援を目指すものであり、事後フォローは行っているものの決して十分ではないと思われるので、その点について特に事業所への巡回を強化する。また、府制度融資については、地域金融機関および行政の協力が必要不可欠であり、より一層支援金融機関と連携した取組みを推進していく。		
具体的な実施内容・手法 (該当型に○)いつ・どこで・何を・どのようにするのかを明確に)	○ 人材育成型	1. 地域支援ネットワーク会議の開催 ・能勢町商工会、豊能町商工会、両町行政担当者、地域支援NW金融機関、日本政策金融公庫、大阪府及び大阪信用保証協会等で構成する地域支援ネットワーク会議を実施し、管内の経済状況や支援取り組み状況および事業融資動向について意見交換を実施する。 ・本会議を通じて地域支援NW支援機関の情報の共有化並びに連携を深め、金融支援の方策について具体的検討を行なう。		
	○ 人材交流型	2. 「金融セミナーおよび交流会」の開催 ・地域金融に焦点をあてた、身近で親しみの持てる「金融セミナーおよび交流会」を能勢町及び豊能町商工会で各1回開催する。(開催時期は下半期に実施予定)		
	販路開拓型	3. 各種事業融資の活用促進(随時) ・各商工会が実施するセミナーや相談会において、大阪府制度融資(地域支援ネットワーク型)のPR(パンフレットの配布、郵送等)を積極的に行うとともに、その他の事業融資についても利用促進を図り、事業の持続化を推進する。		
	ハンズオン型	4. 特定創業支援事業との連携 ・能勢町商工会が町の受託事業として実施する「創業塾」に於いて、府制度融資等のPRを行い、利用促進を図る。		
	独自提案型			

事業名		地域金融機関との支援ネットワーク事業				新規/継続	継続
事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠)		<input checked="" type="radio"/> (a)府施策連携 <input checked="" type="radio"/> (b)広域連携 <input checked="" type="radio"/> (c)市町村連携 <input checked="" type="radio"/> (d)相談事業相乗効果 ・府施策連携商26番 (a b c)豊能町および能勢町商工会、日本政策金融公庫、地元金融機関、大阪府(保証協会)と協議を重ね、また両町行政担当課とも特定創業支援事業などとも協力して、地域支援ネットワークをより充実したものとし、両町において金融と経営支援の一体的支援を目指す。 (d)融資等のカルテ化につなぐ					
事業の目標	支援対象企業数	設定根拠及び 募集方法⇒	チラシ、ホームページ、DM、巡回訪問等にてセミナー受講を募集する。				
		30					
	支援対象企業の変化	中小企業等が、金融情報や行政施策などの有効な情報を獲得して経営改善のヒントを得ると同時に、事業資金の調達時においてバリエーションが広がり、より有利な方策を選択することが可能となる。					
	その他目標値	指標	参加へのアンケート調査での今後の経営に役立ったと回答した企業の割合	数値目標	70%		
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービス単価	支援企業数	係数	標準事業費		
		⇒ 30,300 円 ×	30	×	1.00 =	909,000 円	
		円 ×		×	=	円	
		円 ×		×	=	円	
					(小計)	909,000 円	
	規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)						円
	計						909,000 円
	独自提案単価及び 独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)						
	算出額	①市町村等補助	円	交付市町村等			
		②受益者負担	円	負担金の積算			
<input checked="" type="radio"/> (a)府施策連携		<input checked="" type="radio"/> (b)広域連携	<input checked="" type="radio"/> (c)市町村連携	<input checked="" type="radio"/> (d)相談事業相乗効果			
標準事業費		補助率	(①市町村等+②受益者負担)				
909,000 円 ×		1.00 =	909,000 円	( 円 )			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核 団体またはヒアリングで 説明する代表団体に ○)	代	商工会・会議所名	配分額		役割(配分の考え方)		
	○	能勢町商工会	454,500 円				
		豊能町商工会	454,500 円				
			円				
			円				

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

小規模事業経営支援事業 地域活性化事業 変更理由書

能勢町商工会

事業名

地域金融機関との支援ネットワーク事業

計画に対する  
実績（数値）

支援企業  
数(計画)

30

支援企業  
数(実績)

支援  
実績率

0.0%

【参考】  
参加者数

理 由

【変更の経過と理由】

当初事業計画では、事業者向けセミナーを2月に能勢町商工会と豊能町商工会とで、2回開催予定であったが新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため人の集まる機会、場所の自粛という観点から、11月26日（木）に開催した金融ネットワーク会議により豊能町商工会で開催予定のセミナーをインターネットを利用したオンラインセミナーに変え、能勢町商工会で開催するセミナーをオンライン配信することで参加者を募る。

【支援効果】

コロナ禍で外出の自粛が言われている中において参加者にとっても参加しやすくなると思われる。

【今後の改善方策】  
特になし

【経費内訳】  
変更なし